

山口の演説会に400人 瀬瀬さん 総がかり代表が挨拶



5月28日、山口市内で日本共産党演説会が開催され、会場は400人の聴衆で熱気に溢れました。弁士は、斎藤和子衆議院議員、大平喜信衆議院議員、垣内京美衆議院比例予定候補、そして山口県内の各小選挙区予定候補です。

演説会では、山口大学名誉教授の瀬瀬厚氏と「総がかり行動山口」の岡本博之氏から連帯の挨拶を受け、安倍内閣打倒の熱気に包まれました。会場では、一人が入党を決意、15万円近い募金が寄せられました(写真)。

大平議員 今国会で20回の論戦、通算59回質問 大平議員の「国会通信」の活用を

「島根原発・上関原発計画」「三江線と鉄道問題」「学力テスト」「安倍総理の改憲発言」・・・大平議員の国会論戦が精力的に行われています。憲法審査会の発言は東京新聞でも紹介されています。

大平議員の国会論戦は、毎回「国会通信」としてまとめられ、大平議員と中国ブロックのホームページに掲載されています。

大平議員の論戦は、地方議会での論戦や住民運動の発展にも大きく役立つものです。積極的にご活用ください。



岡山で青年「けんぼす」。オリジナルパレードも



5月27日に民青岡山県委員会が、「けんぼす」(憲法フェスの略)とパレードを開催しました。若い人も楽しく憲法を知ろうと企画された「けんぼす」では講師の「私が私でいられること。これを守っているのが憲法」という話が参加者の多くの心に響きました。

けんぼす後のパレードも「楽しく自分たちオリジナルを」とプラカードやコールを一から作り上げ、岡山初の新しいデモとなり

り少人数ながらも楽しく元気と希望が生まれるようなパレードとなりました。(写真)

都議選支援・・・各県から続々と。大平議員は品川区へ

中国各県から、長期間のオルグ派遣、宣伝隊(ボランティア)の派遣、電話作戦などが精力的に開始されました。大平議員は、品川区への支援に張り付き。垣内候補も宣伝に行きます。